

河西便り



第2号 学校の基本
2022年4月②

学校は「学ぶ」ところ!!

学校の基本「場を清め、礼を正し、時を守る」

国民教育の父といわれた森信三氏（1896-1992年；哲学者 教育者）が、学校の基本は「場を清め、礼を正し、時を守る」ことと言いました。つまり、学校づくりは、掃除の徹底、挨拶の励行、時間の厳守、この3つが基本ということでしょう。

学校では授業の他に学校行事や学級での取組、部活動での取組が行われます。これらを通して、達成感（やり遂げて、うれしかったという気持ち）や自己有用感（自分には人に必要とされているという気持ち）、自尊感情（自分には良いところがあると思う気持ち）を高めることができます。そのためにも、この3つを徹底して意識し、学校全体で取り組んでほしいと思います。

学校は、みんなが安心して「学ぶ」ところです。そのために、学校づくりの基本「場を清め、礼を正し、時を守る」の意味を考え、自分の行動や言葉を振り返ってみてください。

「場」掃除（そうじ）の徹底。新しい校舎でも汚いトイレがあります。校舎が古くても美しいトイレはつくれます。毎朝、校内を歩いていて、大変きれいだと感じています。生徒の下足庫も整然と靴がそろえられています。今の河西中学校の生徒の姿から、一人ひとりが意識すれば、学校がきれいになることがわかります。

キャンプ等では、「来たときよりも美しく」と言われますが、毎日の学校生活でも「朝、来たときよりも、放課後は美しくして帰る」という意識を持てば環境は整います。美しくさわやかな学習環境は、みんなの意識で作ることができるのです。

「礼」挨拶（あいさつ）の励行。あいさつは、「**あ**いてより **い**つも **さ**きに **え**たる言葉」と言う大学の先生がいます。人間の脳は、「生きたい」「知りたい」「つながりたい」という3つの本能を備えていると言われています。対面した人から挨拶をされないと「自分への敵意」を感じるとも言われています。笑顔と挨拶は、人を幸せにするものさしです。朝の「おはよう」のあいさつは魔法の言葉、「おはよう」「ありがとう」「ごめんなさい」は、人と人をつなげる言葉です。授業のはじめの挨拶も徹底していきましょう。

「時」時間の厳守（じかんのげんしゅ）。学校ではチャイムで行動。朝の時間を守ることで、1限目からの授業に集中でき、チャイムで着席することで、充実した授業になります。時間を守ることは、人に信頼されることにつながります。時間を守る人は、自分を大切にできる人です。自分を大切にできるから、人を大切にできるのです。学校に思いやりの風土が育ちます。

「場を清め、礼を正し、時を守る」 みんなで実践、きみたちならできる！

【情報モラル教室 1年生】

4月20日（水）、和歌山市立少年センター補導主事田中宣行先生をお招きして、1年生対象の情報モラル教室を行いました。

情報社会に積極的に参画する態度を育てることは今後ますます重要となり、情報手段をいかに上手に賢く使っていくか、そのための判断力や心構えを身に付けることが大切です。



【家庭訪問について】

4月下旬より予定しておりました家庭訪問につきまして、現在の新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑みて中止とさせていただきます。ご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、7月に予定しております個人懇談につきましては、各ご家庭の懇談時間を通常より拡大して行いたいと考えています。詳細につきましては追ってご連絡させていただきますので、併せてよろしくようお願い申し上げます。

